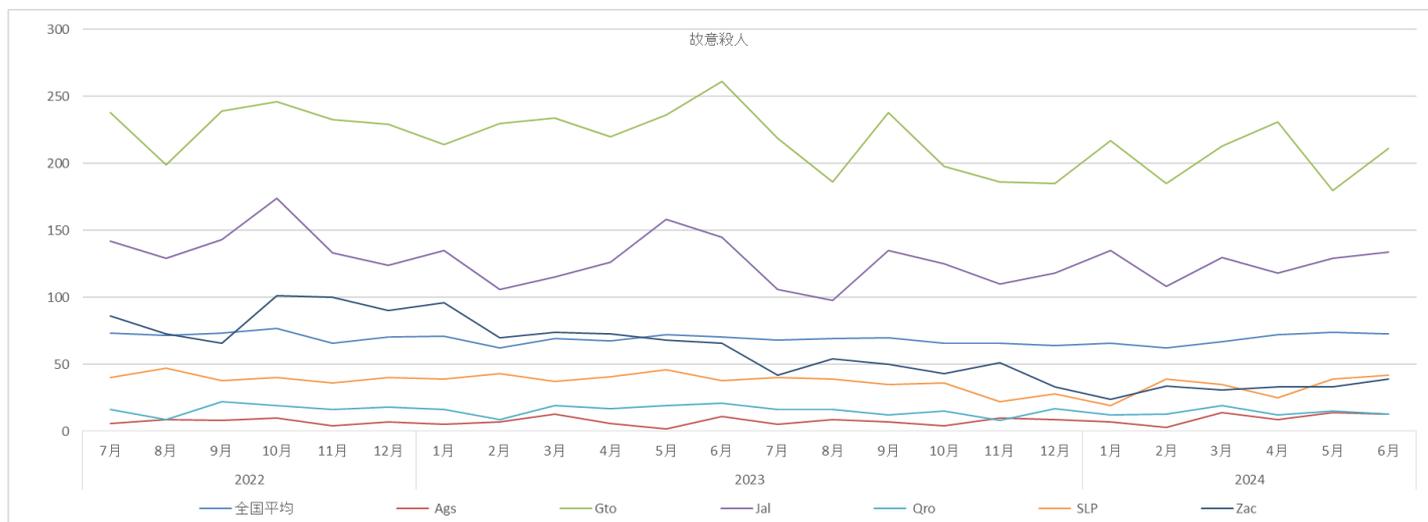
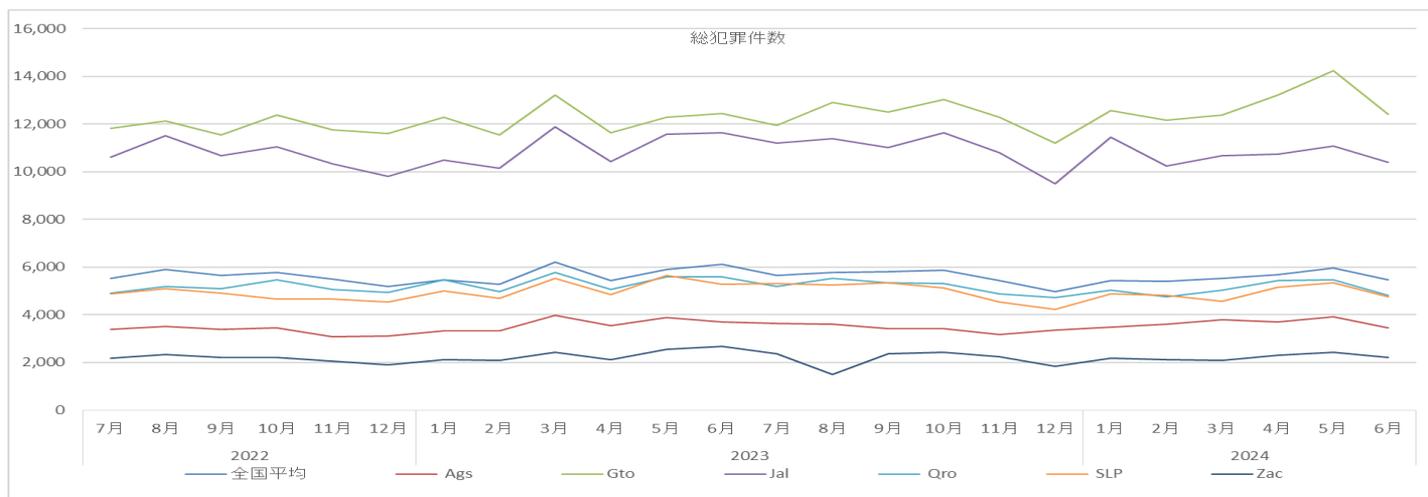
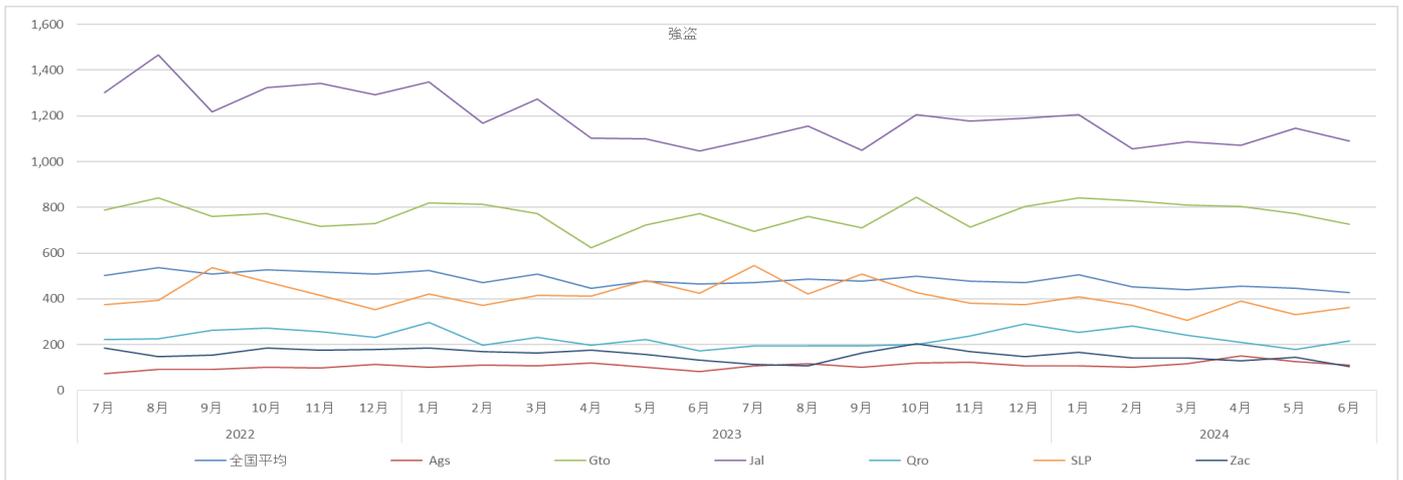


1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数のカルテル（麻薬組織）が存在しており、故意殺人の多くはカルテルによる抗争が大きく関係していると言われていています。特にグアナファト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、全国的にも故意殺人が多く発生している州となっております。近年では CSRL は弱体化していると言われておりますが、シナロア・カルテルも本格的に CJNG と抗争を始めたとの情報もありますので抗争はまだ続くと考えられます。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者や治安当局関係者と言われていますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれるほか、誤認により殺害されるケースや最近では爆弾を使った犯行も見られるため十分注意が必要です。

当館管轄の6州では、サカテカス州も激しい抗争地域となっており凄惨な事件も多く報道されております。隣接しているアグアスカリエンテス州でも、サカテカス州の抗争に関連するような事件や逮捕者も出ており、州境には警察を配備するなど緊張が高まっております。国内でカルテルが活動していない州はなく、複数のカルテルが1つの州内で活動しているのがほとんどで、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は故意殺人が少ない傾向にあります。グアナファト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まり、治安が急激に悪化した州もあります。また、一般的に治安が安定していると言われる州においても、カルテルの犯行と思われる犯罪や誘拐事件なども発生しておりますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けて下さい。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

・人口約616万人 犯罪認知総数（4月～6月）37,128件

故意殺人の件数は緩やかに減少しておりましたが、2022年に入り再び増加傾向となっていることから、カルテルの抗争が激化していると予想されます。カルテル幹部が逮捕された報復として、治安関係者や一般市民を巻き込んだ銃撃事件や複数の小規模店舗や車両を同時に放火する事件が発生しており、引き続きカルテルによる事件は継続すると考えられます。また、強盗被害も依然として多く発生しており、都市間の移動は時間帯など考慮して運行計画を立てる事も重要ですが、通勤時間帯に車両強盗被害に遭う事件も発生しており、一般的な対策だけでは防ぐことができません。更に、同地域では高速道路上（45線D）での強盗被害も多く、走行中に犯人が横付けして銃器で脅し車両を強奪することや、被害者が一時的に犯人車両に監禁される事件や強盗目的で歩道橋から投石し、車両を強制的に停車させるような手口が日中帯に発生しています。万が一同被害に遭ってしまった場合は、相手を刺激せず命を守るような行動をとって下さい。

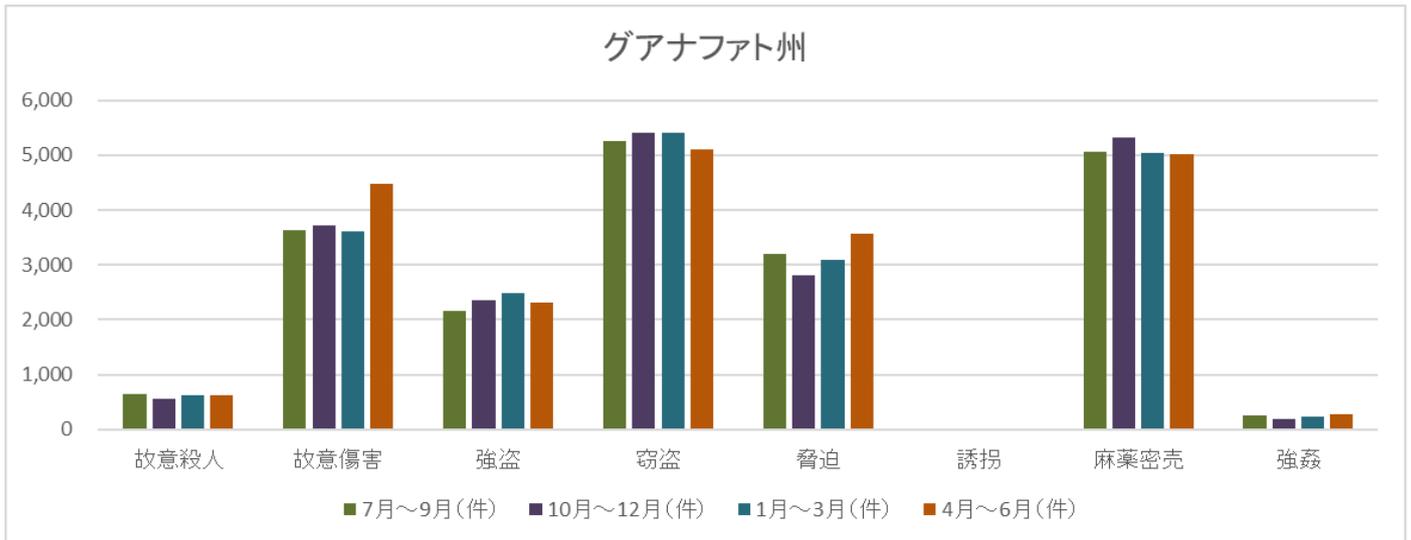
・邦人被害（4月～6月）3件（車上狙い被害2件 強盗被害1件）

19時頃、就業後帰宅するためセラヤ市内の高速道路を走行していたところ、追い越してきた車両に乗った犯人が被害者にけん銃を向け、停車するよう指示され、被害者は指示に従い停車。その後、犯人車両へ乗車するよう強制された。1時間ほど犯人車両に監禁されたまま移動し、アパセオ・エル・グランデ市の一般道路上で解放された。解放後、1時間ほど歩きコンビニエンスストアを発見し警察へ通報。被害者に怪我は無いが、車両、パソコン、携帯電話、財布が奪われる被害が発生しました。車両強盗の多くは、拳銃の使用や道路を塞ぐなど手荒な犯行がほとんどです。また、強盗に遭った際は、抵抗することなく犯人の要求に応じ、犯人を見つめたり、追いかけたりする等、犯人を刺激するような言動は避けて下さい。

20時頃、イラプアト市内のコンビニへ仕事帰りに車で立ち寄り、5～10分ほど買物をして車に戻ったところ、助手席側後部座席の窓ガラスが割られ、トランクに置いていた鞆（パソコン、パスポート）が盗まれた被害が発生しました。

21時頃、友人とカフェに寄った帰り道に、Mariano Escobedo 沿いのコンビニエンスストアへ車で立ち寄り、3分ほど買物をして車に戻ったところ、運転席側後部座席の窓が割られ、車内に置いていた鞆（パソコン、パスポート等）が盗まれた被害が発生しました。僅かな時間であっても車から離れる際は鍵を掛け、パソコン、パスポートなどの貴重品や鞆は、車内に残さず必ず携行するか、外出時に不要なものはなるべく持ち出さないようにして下さい。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	643	569	615	622
故意傷害	3,628	3,713	3,622	4,481
強盗	2,167	2,363	2,480	2,306
窃盗	5,250	5,412	5,401	5,109
脅迫	3,203	2,812	3,093	3,563
誘拐	0	2	2	4
麻薬密売	5,055	5,329	5,039	5,018
強姦	258	202	234	281



(2) アグアスカリエンテス州

・人口約142万人 犯罪認知総数(4月～6月)10,864件

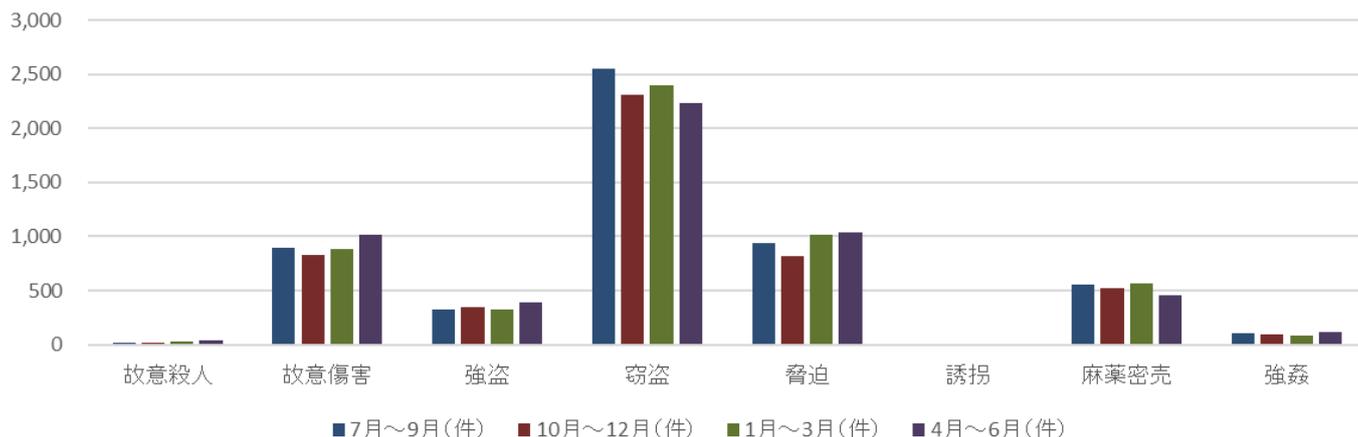
犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率(人口の割合)では窃盗や強盗の割合が高い州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する位置は人目の多いところを意識して選定し、貴重品は絶対に車内に残さないよう徹底して下さい。

・邦人被害(4月～6月)1件(窃盗被害)

23時頃、出張から帰宅したところ、室内が何者かに荒らされており、貴重品(現金、パスポート、家電等)が盗まれた被害が発生しました。帰宅の際、侵入形跡を発見したら警察へ通報して下さい。また、自宅内には犯人が潜んでいる可能性もあるため、警察が到着するまでは自宅内には入らないようにして下さい。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	21	23	24	36
故意傷害	890	826	883	1,014
強盗	326	349	323	388
窃盗	2,554	2,310	2,401	2,237
脅迫	936	822	1,012	1,038
誘拐	0	1	1	0
麻薬密売	554	521	563	462
強姦	109	96	84	115

アグアスカリエンテス州



(3) ハリスコ州

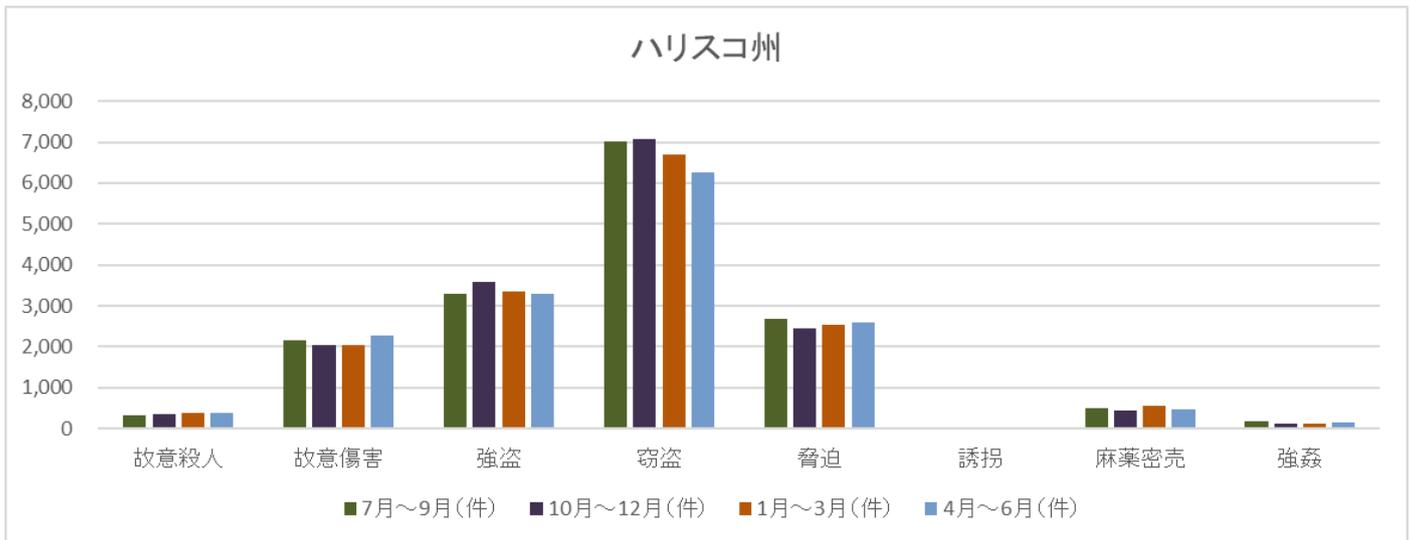
・人口約 834 万人 犯罪認知総数 (4月～6月) 32,377 件

強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えれば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く注意が必要です。高速道路路上でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。グアダラハラ市はメキシコ第二の都市とも言われておりますが、人が多いところは犯罪も増える傾向があり、旅行者と分かるような格好はターゲットにされるリスクも高くなりますのでご注意ください。

・邦人被害 (4月～6月) 1 件 (強盗被害)

23 時頃、自転車で外出するため普段から利用しているレンタルサイクルへ徒歩で向かっていたところ、背後から犯人にショルダーバッグを引っ張られたため被害者が抵抗。犯人が所持していた凶器で刺され負傷した。犯人は被害者のショルダーバッグ (財布、携帯電話等) を奪い逃走した被害が発生しました。夜間や人通りの少ない路地や地域の通行は避けるようにして、移動は可能な限り車を利用して下さい。また、抵抗はせずに、犯人の指示に従って行動して下さい。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	338	353	373	381
故意傷害	2,147	2,031	2,055	2,277
強盗	3,306	3,571	3,349	3,306
窃盗	7,011	7,074	6,697	6,246
脅迫	2,689	2,436	2,529	2,601
誘拐	3	6	3	5
麻薬密売	499	441	571	481
強姦	169	133	130	150



(4) ケレタロ州

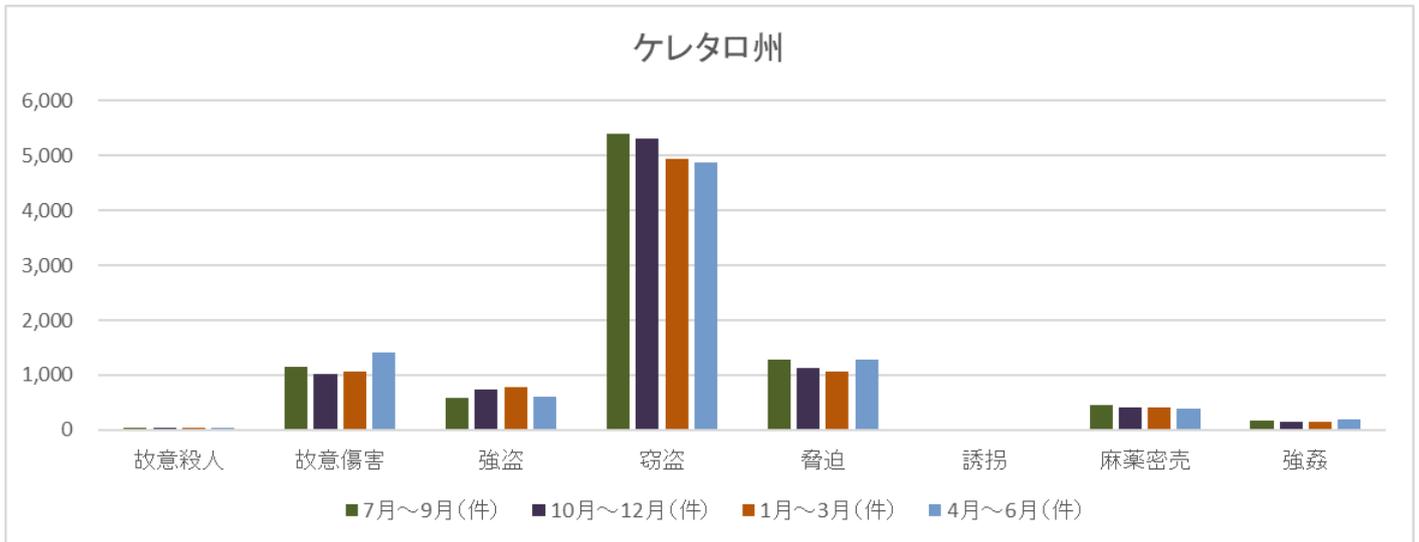
・人口約236万人 犯罪認知総数(4月～6月) 14,823件

故意殺人の件数は少ないですが、犯罪の多くがケレタロ市で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナファト州やメキシコ州の治安も悪く、州境での車両強盗被害も目立ちますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路を利用して下さい。

・邦人被害(4月～6月) 1件(車上狙い被害)

20時頃、レストランで食事をするため、レストラン前の路上へ15分程駐車し入店。車はレストランから見える位置に駐車。食事を終え車に戻ったところ、助手席側後部座席の窓ガラスが割られており、車内に置いていた鞆(パソコン、パスポート等)が盗まれた被害が発生しました。僅かな時間であっても車から離れる際は鍵を掛け、パソコン、パスポートなどの貴重品や鞆は、車内に残さず必ず携行するか、外出時に不要なものはなるべく持ち出さないようにして下さい。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	42	40	44	40
故意傷害	1,159	1,026	1,061	1,406
強盗	586	727	774	605
窃盗	5,407	5,323	4,932	4,867
脅迫	1,292	1,119	1,073	1,292
誘拐	7	0	2	0
麻薬密売	463	400	400	379
強姦	160	144	157	196



(5) サンルイスポトシ州

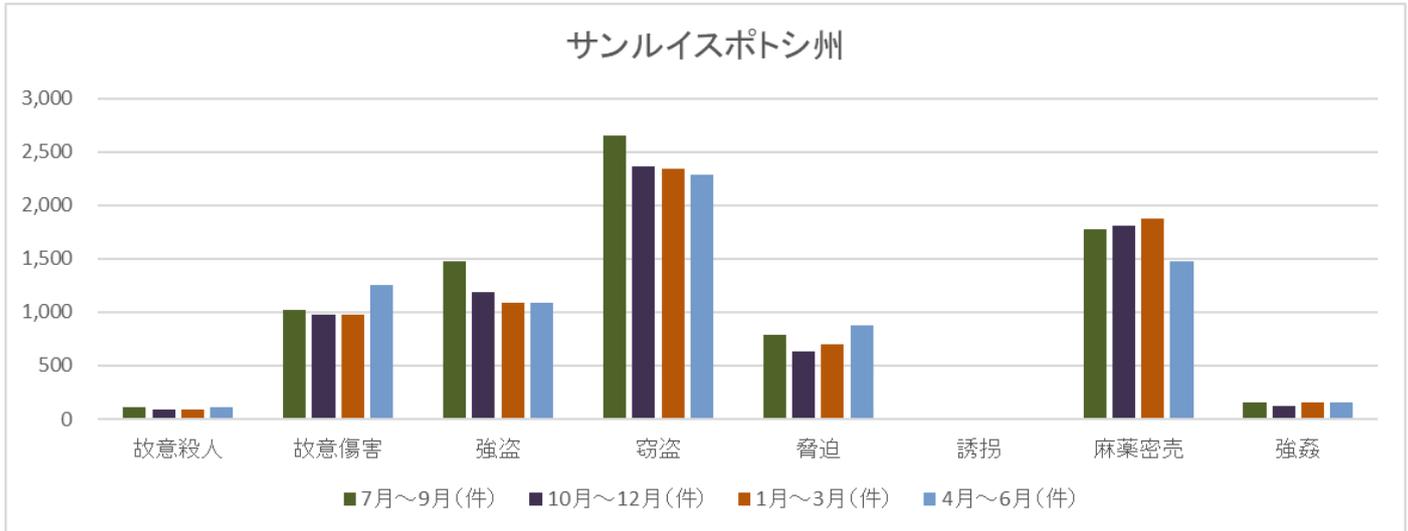
・人口約282万人 犯罪認知総数(4月～6月) 14,214件

強盗件数は年々増加傾向となっており、その発生率(人口の割合)も高くなっております。また、麻薬に関連する犯罪も顕著に増加しており治安悪化傾向となっております。今のところ、目立ったカルテルの抗争は見られませんが、州東部では移民を狙ったと思われる誘拐事件も多発しておりますので、十分注意をして下さい。

・邦人被害(4月～6月) 1件(車上狙い被害)

20時頃、レストランで食事をするため、レストラン駐車場へ駐車し入店。食事を終え車に戻ったところ、助手席側後部座席の窓ガラスが割られており、車内に置いていた鞆(現金、パソコン、パスポート等)が盗まれた被害が発生しました。僅かな時間であっても車から離れる際は鍵を掛け、パソコン、パスポートなどの貴重品や鞆は、車内に残さず必ず携行するか、外出時に不要なものはなるべく持ち出さないようにして下さい。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	114	86	93	106
故意傷害	1,023	973	976	1,254
強盗	1,476	1,185	1,086	1,083
窃盗	2,648	2,367	2,342	2,280
脅迫	787	632	703	877
誘拐	1	2	2	0
麻薬密売	1,771	1,812	1,878	1,477
強姦	153	121	157	156



(6) サカテカス州

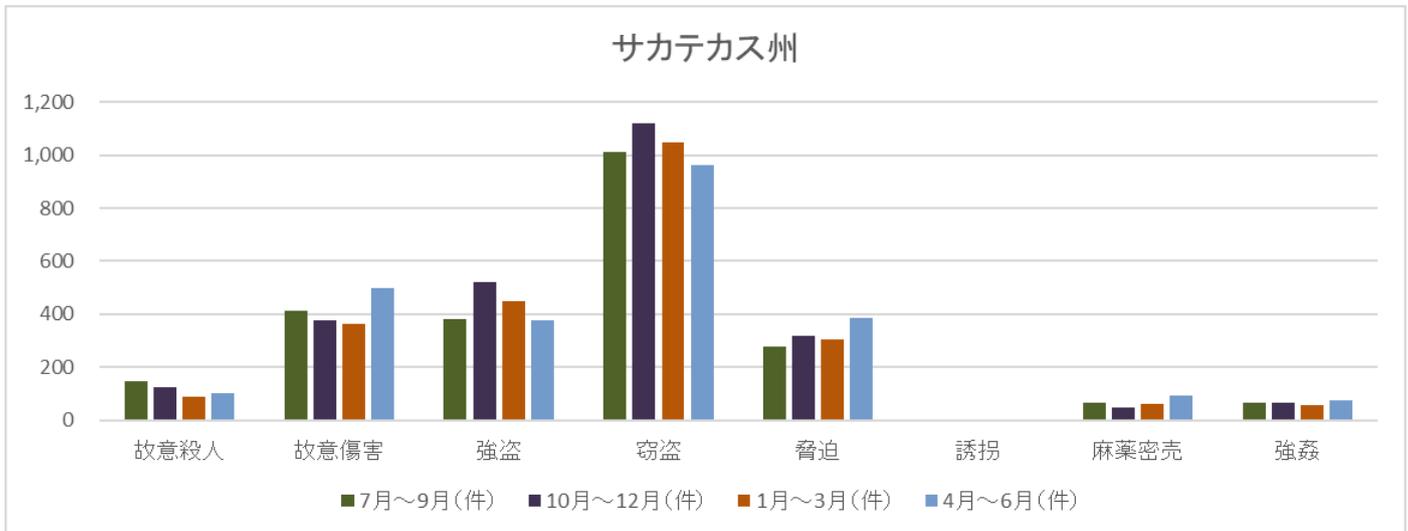
・人口約162万人 犯罪認知総数(4月～6月) 6,359件

故意殺人の発生率(人口の割合)は、他の州と比べても非常に高い数値となっています。殺人の多くは麻薬関係者と言われておりますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

・邦人被害(4月～6月) 0件

4月～6月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)	4月～6月(件)
故意殺人	146	127	89	105
故意傷害	413	377	363	498
強盗	382	521	451	378
窃盗	1,011	1,118	1,046	960
脅迫	277	319	306	386
誘拐	1	4	3	1
麻薬密売	68	49	61	93
強姦	69	67	56	76



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) メキシコ国内では、麻薬に関係する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやクラブ等の出入りについて極力避けるとともに、違法薬物には一切かかわらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意して下さい。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げることが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる死傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地区内では空き巣被害や強盗被害が目立ちます。万が一にも空き巣被害を確認した際には、まずは911（警察、消防、救急への緊急通報番号）通報し警察官同行のもと住居内の確認を行って下さい。犯人が住居内に残っていた場合、拳銃等を所持している可能性が非常に高いことから、住居区の警備員の同行があっても必ず警察官の到着を待って下さい。また、強盗被害に遭遇した場合は、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず911番通報を行うよう心掛けて、犯人の逮捕を希望する場合は、検察局（Fiscalía General）に被害届を提出して下さい。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様へ注意喚起することができるとともに、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができるためご協力をお願い致します。

5 日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載しておりますので、ご参照下さい。

URL: https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/seguridad_anzen.html

以上